

校訓 誠実

学校教育目標 ひとすじに うつくしく たくましく

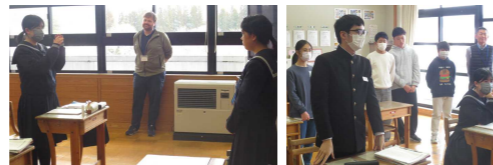
# かかわり、つながりから生まれる学校力 ～先輩から後輩へつなぐもの～

記録的な大雪となった今年の冬、連日連夜の雪かきに奮闘しましたが...今となっては過ぎし日々の思い出です。学校周辺は未だ残雪深い状況ですが、2月後半から暖かい日も増えて春の気配が感じられるようになってきました。校内でも山田仁美教育長さんからいただいた早咲き桜「啓扇桜」(右写真)も開花し始めております。



弥生3月、令和7年度の最終月を迎えています。学校にとって、この3月は子どもも大人も心が大きく揺れ動く時期となります。特に、中学校3年生にとっては義務教育9年間の集大成として経験する「高校受験」や上小阿仁小中学校の門出「卒業式」を迎えます。いよいよ新たな世界へ一歩踏み出すこととなります。学校では、そんな中学校3年生の集大成の姿から学ぶ機会が増えております。

先日、小学校6年生が中学校のゴールをイメージする取組として英語授業「Speech Presentation」を参観しました(右写真)。中学校の思い出を英語で自分らしくスピーチする姿、そのスピーチ内容に英語で質問や感想を述べる姿、オーエン先生やヒュー先生と英語でコミュニケーションをとる姿など、6年生はもちろん参観した先生方も英語を自然に活用する姿に驚いていました。オーエン先生のコーディネートで保育園から英語にふれ、小学校、中学校と学びを深めながら育ててきた英語力は誰もが絶賛する力となっており、これはまさに「上小阿仁ブランド」のひとつであると思います。



中学校でも3年生の面接練習の様子を1、2年生が参観しています。高校入試直前の姿にふれたことで、1、2年生にとっては自分事として捉える貴重な機会になったと思います。

2月中頃、私も3年生が面接練習する場面を参観する機会がありました。これまでの自分の歩みを振り返り、自分との対話を通して、次の道で自分がどのように生きていくのか、決意や覚悟を述べる姿がありました。今回はそこからさらに面接スキルが向上し、言葉にも自身の思いがのった姿に変容していました。



誰もが通過する中学校3年生という人生の大切な節目。そのときをどのような状態で迎えることができるか...それは人それぞれです。ただ、義務教育9年間という限られた時間の中で、様々な「ひと・もの・こと」と関わり、つながりながら新たな自分との出会いを通して、より自分を知り、高めていく機会は大切にしていきたいものです。物事がすべて順調に進むわけではありません。紆余曲折を経て、その中で感じた、考えた経験がすべて自身の成長につながることは確かです。

## <2/27: 6年生ありがとう集会>



この集会は、小学校をフルパワーで牽引してきた6年生へ後輩たちから精一杯の感謝を伝える機会です。5年生が一致団結して企画し、4～1年生の協力を得ながら準備を行い、当日も運営を頑張りました。

6年生はもちろん、会場にいるみんなの笑顔が溢れる集会となりました。企画等の大変さを知っている6年生だからこそ、後輩たちの頑張りを温かく見守りながら、そして自分たちも心から一緒に楽しむ姿がありました。実行委員長の三浦こはくさんの言葉を借りると...やはり6年生はいつも積極的に、そして優しくみんなを引っ張ってくれました。集会を終えたあとの5年生の姿が印象的でした。きっと、すべてが思いどおりに進んだわけではないと思いますが、先生方のサポートもいただきながら、みんなで協力して、支え合いながらひとつのものを創りあげた達成感...涙で溢れていました。それは6年生から引き継いだ確かなバトンです。



## <2/17: なわとび集会 挑戦!>

保健体育委員会が運営したこの集会は、「前跳び体力アップタイム」「技にチャレンジタイム」「技披露タイム」「大縄チャレンジタイム」と4回の挑戦機会が設定されています。

子どもたちが互いに応援しながら、はやぶさや二重跳びなどの技に挑戦したり、心を合わせて大縄に挑戦したりするなど、時間いっぱい頑張りました。

子どもたちの精一杯の声援が心に響き、観ている側も明日への元気をもらえたような、そんな気持ちになった素晴らしい時間でした。来年度は、地域の方々にも学校に足を運んでいただき、観ていただきたいと考えています。

## <2月の学校場面>



<小5年:算数の研究授業の様子>

令和7年度もあと少し...引き続き、上小阿仁小中学校をよろしく願っています!



<小2年:道徳の研究授業の様子>



<中1年:音楽「箏」授業>



<小1年:図工の様子>



<中2年:保体「柔道」授業>